

安倍暴走政治と正面对決 市民生活を守りぬく



この4年間、公約の「くらし・福祉・防災の埼玉」に、全力で走り抜いてきました。竜巻や大雪被害ではまっ先に現場にかけつけ、被災者の思いに心を寄せながら、いのち・くらし支える県政をと県議会で提案。川口でも起こりうる災害だと胸に刻みながら、みなさんの安全・安心、生きることを支える政治の実現に、これからは全力でがんばります。

埼玉県議会議員、議会運営委員、県土都市整備委員、危機管理大規模災害対策特別委員、党県議団幹事長／川口市議2期／2011年埼玉県議に当選／1952年生まれ／東洋大学工学部卒／一級建築士／埼玉県被災建築物応急危険度判定士／家族は妻・1男／小谷場在住／趣味・ハイキング

ブログ「マサツグの奔走記」Facebook「村岡正嗣」で検索

埼玉県議会議員
日本共産党
村岡
まさつぐ

県政の2つの「異常」をただします

ゆるしません! 弱いものいじめの県政

- 定時制高校 10 校を廃止
- 幼稚園保護者への 4 千円の補助金カット
- 重度障がい者や難病患者の医療無料制度に年齢制限の導入
- 県施設利用料の高齢者減免 (65 歳以上) を廃止

ひどすぎる! 学校教育への政治介入

■教科書の採用にまで口出し

検定済みの実教出版社の日本史教科書を採用した校長を県議会文教委員会に呼び出し、「自虐史観だ」「これでは自民党支持者は生まれぬ」と言いがかりをつけ、次年度は採用ゼロに。

■生徒の思想調査

平和学習をかねた台湾修学旅行に行った生徒の感想文を議会に提出させ、思想調査まがいの行為も。侵略戦争を肯定する動きと連動した自民党など改憲派議員の横暴は許しません。

県民とともに県政動かす=日本共産党埼玉県議員団

- 竜巻被害に県独自の生活再建支援制度を創設
- 大雪被害で国・自治体の支援策を拡充
- 新生児集中治療室 (NICU) を 83 床から 135 床へ増床
- 特別支援学校を 6 年間で 10 校開設



熊谷市の竜巻被害現場で

21かわぐち

日本共産党埼玉南部地区委員会の見解をお知らせします。

2015年2月号外 発行：日本共産党埼玉南部地区委員会 ☎(267)8411 川口市前川 2-28-10 www.jcp-kawaguchi.jp

消費税、憲法、原発…安倍政権の暴走ストップ!



医療・介護の充実で
誰もが健やかにくらせる市政を

人々のいのちを守るものは、充実した社会保障です。この社会保障がないがしろにされている国政・県政に対し、「市民のいのちを守る市政」にこだわり活動してきました。そして、集团的自衛権行使で平和があぶない。今こそ憲法 9 条を守るため全力でがんばります。

市議会経済・文教常任委員、生活福祉・教育問題特別委員／医療生協の健康づくりの運動 20 年、医療生協さいたまの常務理事など歴任／元郷中、川口女子高卒／家族は夫と 2 女 1 男／1956 年横浜市生まれ／東内野在住／趣味・バドミントン ホームページ、Facebook「今井はつえ」で検索

川口市議会議員
日本共産党
今井
はつえ

子どもたちの明日のために



- 子ども医療費の無料化、18 歳までに。
- 待機児童ゼロへ、認可保育所の増設を。
- ゆきとどいた教育の実現へ、少人数学級と父母負担軽減をはかります。

くらしを守り、安心の川口に



- 国民健康保険税の負担増を許さず軽減を求めます。
- 特別養護老人ホームの増設。介護の負担を軽減することを提案。
- 固定資産税や農地の宅地並み課税、相続税の税負担を軽減し、緑と農地を守る提案。

中小企業のまち川口で働き続けるために



- 県や市の中小企業振興条例の具体化をはかります。
- 住宅リフォーム助成制度を拡充し、商店リフォーム助成制度をつくります。
- 市内の全事業所の調査。雇用の拡大、仕事おこしにつながる公契約条例の制定を。

市民の安全・防災対策を



- 全学校と橋梁の耐震化を。
- ゲリラ豪雨にも対応できる河川整備、貯水池・槽の設置、排水能力のアップの水害対策を促進を。
- 消防力の増強で、防災・減災対策の充実を。
- 歩道整備、防犯、安全対策、バリアフリー化をすすめます。

憲法・平和・民主主義



- 憲法破壊を許しません。
- 憲法にもとづく市政運営を提案。市主催の平和守る事業の拡大を。
- 民主主義を守るために、市民参加の充実と議会改革を提案。

提案し、行動する。
市民と力を合わせて実現へ。